



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月6日

上場会社名 株式会社 フジトミ

上場取引所 東

コード番号 8740 URL <http://www.fujitomi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細金 英光

問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務本部長 (氏名) 新堀 博

TEL 03-4589-5500

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	890		191		170		236	
29年3月期第2四半期								

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 206百万円 ( %) 29年3月期第2四半期 百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
30年3月期第2四半期	35.75	
29年3月期第2四半期		

当社は、平成30年3月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成29年3月期第2四半期の数値及び対前年四半期増減率については記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	6,707	2,589	38.6
29年3月期			

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 2,589百万円 29年3月期 百万円

当社は、平成30年3月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成29年3月期第2四半期の数値については記載しておりません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
29年3月期		0.00		4.00	4.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				4.00	4.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) エイチ・エスライフ少額短期  
保険株式会社、 除外 社 (社名)

当社は、平成29年7月6日にエイチ・エスライフ少額短期保険株式会社の発行済株式の株式を99.12%取得し、同社を連結子会社といたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	6,860,000 株	29年3月期	6,860,000 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年3月期2Q	235,390 株	29年3月期	235,322 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	6,624,616 株	29年3月期2Q	6,624,678 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
3. 補足情報 .....	9
(1) 営業収益の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、景気は緩やかな回復基調が続いています。一方で、海外においては、中国を始めとする新興国の経済の不確実性や、米国新政権の政策動向及び朝鮮半島情勢の問題などにより、世界経済の先行きは依然として不透明な状況が継続しております。

為替市場は、米国の金融政策正常化が強く意識された6月下旬から7月上旬にかけて円安ドル高傾向が強まり、8月から9月上旬にかけて、米トランプ政権の内部の混乱、北朝鮮リスクへの警戒などでリスク回避的な円高圧力が高まり、一時110円割れの円高となりましたが、その後は早期の解散総選挙への好感や、米国での年内利上げ観測の再浮上などから112円台まで円安ドル高に向かいました。

証券市場は、日経平均株価が7月に20,000円台を固める動きを続けましたが、8月は円高が進行し、それが嫌気されて19,000円台前半まで下落しました。9月に入ると堅調な米国経済指標を好感した米株高や解散・総選挙でアベノミクスが一段と加速するとの期待感から年初来高値を更新し、2年1ヶ月ぶりに20,300円台まで回復しました。

商品先物市場は、8月以降、貴金属市場全般に北朝鮮の弾道ミサイル発射による地政学的リスクの高まりから価格が上昇し、特に金は安全資産として注目され9月19日に約2年3ヶ月ぶりとなる高値(4,721円)を付けるなど取引が活発に行われましたが、4月～7月までの国内商品取引所の総出来高が804万枚(前年同期比16.2%減)となったことから、国内商品取引所の総出来高は1,255万枚(前年同四半期比6.0%減)、主な市場別出来高は貴金属市場が794万枚(同6.5%減)、石油市場が321万枚(同0.6%増)、農産物・砂糖市場が37万枚(同36.7%減)となりました。

このような環境の中、当社は投資関連サービス事業と生活環境関連事業の二本柱の体制で多様な質の高いサービスの提供を行い、顧客拡大を志向して中長期的に安定した収益基盤を目指しておりますが、当第2四半期連結累計期間は、株式会社東京金融取引所の取引所為替証拠金取引(くりっく365)、取引所株価指数証拠金取引(くりっく株365)の事業拡大に注力し、新規顧客導入の強化を図って参りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の金融商品取引受託業務の受取手数料は144百万円(前年同四半期比212.2%増)となりましたが、商品先物取引受託業務の受取手数料は、422百万円(同29.7%減)となりました。また、商品先物取引及び金融商品取引の自己売買業務の売買損益は、67百万円の損失(前年同四半期は11百万円の損失)、保険募集業務の受取手数料は71百万円(前年同四半期比1.0%減)、不動産の賃貸料収入は21百万円(同10.7%減)、不動産販売の売上高は281百万円(同3.2%減)、太陽光発電機・LED照明等の売上高は6百万円(同46.9%減)、映像コンテンツ配信の売上高は9百万円(同50.0%減)となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益890百万円、営業総利益618百万円、営業費用810百万円、営業損失191百万円、経常損失170百万円となりました。

なお、負ののれん発生益16百万円等による特別利益17百万円があったものの、映像コンテンツ配信事業の譲渡に係る固定資産売却損48百万円、金融商品取引システム移行に伴う電算機費29百万円等の特別損失80百万円があり、親会社株主に帰属する四半期純損失は236百万円となりました。

(注) 1. 当社は、平成30年3月期第1四半期まで非連結の業績を開示しておりましたが、平成29年7月6日にエイチ・エスライフ少額短期保険株式会社を子会社化し、当第2四半期より同社を連結子会社とする連結決算へ移行いたしました。当第2四半期より連結の業績を開示しておりますため、前年同四半期との比較は行っておりません。

2. 当第2四半期累計期間の営業収益の内訳は9頁の補足情報に記載しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期累計期間末の資産合計は、差入保証金の増加167百万円、委託者先物取引差金の増加84百万円、保管有価証券の増加14百万円、投資有価証券の増加49百万円、営業権(映像コンテンツ配信事業)の減少59百万円、不動産の減少142百万円などにより、前事業年度末に比べ113百万円増加し6,707百万円となりました。

負債合計は、受入保証金の増加544百万円、未払金の増加31百万円、退職給付引当金の増加15百万円、預り証拠金(代用有価証券を含む)の減少254百万円などにより、前事業年度末に比べ343百万円増加し4,117百万円となりました。

また、純資産合計は、利益剰余金の減少260百万円、その他有価証券評価差額金の増加29百万円などにより、前事業年度末に比べ229百万円減少し2,589百万円となりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間末の自己資本比率は38.6%(前事業年度末は42.8%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、当社の主要な事業である商品先物取引業の業績が市場動向等に大きく左右されること、不動産の賃貸及び不動産の販売についても確度の高い業績予想を行うことが難しいことなどから、的確な業績予想を行うことが困難なため、業績予想を開示せず、四半期毎に迅速に業績速報を開示させていただくこととしております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	1,147,724
委託者未収金	58,836
売掛金	6,046
有価証券	30,000
商品	6,706
原材料及び貯蔵品	629
販売用不動産	74,547
仕掛販売用不動産	64,754
保管有価証券	335,416
差入保証金	2,701,212
委託者先物取引差金	637,966
預託金	35,000
その他	107,690
貸倒引当金	△2,024
流動資産合計	5,204,507
固定資産	
有形固定資産	537,800
無形固定資産	104,564
投資その他の資産	
投資有価証券	364,976
関係会社株式	35,363
破産更生債権等	141,788
長期差入保証金	379,310
その他	82,117
貸倒引当金	△143,409
投資その他の資産合計	860,147
固定資産合計	1,502,512
資産合計	6,707,019

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間  
(平成29年9月30日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	265
未払金	116,759
保険契約準備金	8,095
未払法人税等	6,043
預り証拠金	2,271,069
預り証拠金代用有価証券	335,416
受入保証金	1,039,918
その他	85,084
流動負債合計	3,862,653
固定負債	
退職給付に係る負債	172,985
その他	51,205
固定負債合計	224,191
特別法上の準備金	
商品取引責任準備金	30,825
金融商品取引責任準備金	45
特別法上の準備金合計	30,870
負債合計	4,117,716
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,200,000
資本剰余金	312,840
利益剰余金	1,182,600
自己株式	△39,556
株主資本合計	2,655,884
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△66,821
その他の包括利益累計額合計	△66,821
非支配株主持分	240
純資産合計	2,589,303
負債純資産合計	6,707,019

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業収益	
受取手数料	638,770
売買損益	△67,254
売上高	296,737
賃貸料収入	21,108
その他	1,628
営業収益合計	890,991
売上原価	272,113
営業総利益	618,877
営業費用	
取引所関係費	24,223
人件費	537,486
減価償却費	13,093
その他	235,538
営業費用合計	810,341
営業損失(△)	△191,464
営業外収益	
受取利息	2,653
受取配当金	3,065
受取地代家賃	585
貸倒引当金戻入額	8,091
持分法による投資利益	3,324
その他	3,333
営業外収益合計	21,052
営業外費用	
その他	400
営業外費用合計	400
経常損失(△)	△170,812
特別利益	
負ののれん発生益	16,989
投資有価証券売却益	319
特別利益合計	17,308
特別損失	
固定資産売却損	48,363
固定資産除却損	110
投資有価証券売却損	2,399
電算機費	29,520
特別損失合計	80,394
税金等調整前四半期純損失(△)	△233,898
法人税、住民税及び事業税	2,949
法人税等調整額	-
法人税等合計	2,949
四半期純損失(△)	△236,847
非支配株主に帰属する四半期純利益	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△236,847



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純損失(△)	△236,847
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	29,894
その他の包括利益合計	29,894
四半期包括利益	△206,953
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△206,953
非支配株主に係る四半期包括利益	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 営業収益の状況

① 投資サービス事業

イ. 受取手数料

(単位：千円)

区 分		前年同四半期 (非連結) (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期 (連結) (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	前年通期 (非連結) (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
商品先物取引	農産物・砂糖市場	19,728	13,892	30,175
	貴金属市場	551,946	376,031	1,008,284
	ゴム市場	7,296	9,096	16,386
	石油市場	22,081	23,509	43,280
	商品先物取引計	601,052	422,529	1,098,127
金融商品の媒介等		189	0	233
金融商品取引	取引所為替証拠金取引	6,924	4,857	14,188
	取引所株価指数証拠金取引	39,477	140,004	97,632
	金融商品取引計	46,401	144,861	111,820
合 計		647,642	567,391	1,210,181

ロ. 売買損益

区 分		前年同四半期 (非連結)	当第2四半期 (連結)	前年通期 (非連結)
商品先物取引	農産物・砂糖市場	2,452	3,506	△4,656
	貴金属市場	22,779	4,703	34,303
	ゴム市場	3,498	5,671	△13,745
	石油市場	△40,210	△81,135	△66,670
	商品先物取引計	△11,480	△67,254	△50,768
商品売買損益		0	0	0
金融商品取引トレーディング損益		70	0	1,857
合 計		△11,409	△67,254	△48,910

ハ. その他

区 分	前年同四半期 (非連結)	当第2四半期 (連結)	前年通期 (非連結)
情報提供報酬等	69	56	314

<投資サービス事業合計>

区 分	前年同四半期 (非連結)	当第2四半期 (連結)	前年通期 (非連結)
営業収益	636,302	500,193	1,161,585

② 生活・環境事業

イ. 受取手数料

(単位:千円)

区 分	前年同四半期 (非連結)	当第2四半期 (連結)	前年通期 (非連結)
生命保険・損害保険の募集	72,121	71,378	144,319

ロ. 売上高

区 分	前年同四半期 (非連結)	当第2四半期 (連結)	前年通期 (非連結)
不動産販売	290,520	281,089	336,359
映像コンテンツ配信	18,936	9,468	37,872
太陽光発電機・LED照明等	11,640	6,179	31,264
合 計	321,097	296,737	405,496

ハ. その他

区 分	前年同四半期 (非連結)	当第2四半期 (連結)	前年通期 (非連結)
不動産賃貸料収入	23,640	21,108	47,044
その他	2,537	1,572	12,713
合 計	26,177	22,681	59,757

<生活・環境事業合計>

区 分	前年同四半期 (非連結)	当第2四半期 (連結)	前年通期 (非連結)
営業収益	419,396	390,797	609,573

(注) 当社は、平成29年3月期第2四半期及び平成29年3月期(通期)は非連結の業績を開示しておりましたが、平成29年7月6日にエイチ・エスライフ少額短期保険株式会社を子会社化し、当第2四半期より同社を連結子会社とする連結決算へ移行いたしました。当第2四半期より連結の業績を開示しておりますため、上表の前年同四半期及び前年通期は非連結の数値を、当第2四半期は連結の数値を記載しております。